

会 議 録 (HP公開用)

嘉手納町教育委員会

1. 会議の種類：平成30年度 第3回（臨時会）
2. 期 日：平成30年9月3日（月） 午後13時30分～午後14時45分
3. 会 議 場：3階会議室

4. 会議に出欠した教育委員

| 職 名 | 氏 名 | 出席 | 欠席 | 備 考 |
|----------|---------|----|----|-----|
| 教 育 長 | 比 嘉 秀 勝 | ○ | | |
| 教育長職務代理者 | 奥間 千津子 | ○ | | |
| 教 育 委 員 | 宮 里 啓 | ○ | | |
| 教 育 委 員 | 喜世川直子 | ○ | | |

5. 職務上会議に出席した職員

教育総務課長 金城 睦和
教育指導課長 浦崎 直哉
社会教育課長 當山 哲也
中央公民館長 新垣 美佐
教育総務係長 我那覇 弥生

傍聴人 入室（公開）

教 育 長：ただいまから、平成30年度 第3回臨時教育委員会会議を開会します。はじめに、会議規則第6条に基づき非公開事項についてお諮りします。本日の協議題について、非公開事項はありませんので、すべて公開にしたいと思いますがよろしいでしょうか。

全 委 員：異議なし。

教 育 長：異議なしと認めます。それでは、本日の会議はすべて公開とします。また、公開とされた議事進行中に、あらたに非公開が妥当とされる審議事項が出された場合には、改めて非公開の発議をお願いします。つづいて、会議規則第15条に基づき本日の会議の進行についてお諮りします。本日の会議は2協議題のみでありますので、会議はすべて公開とし、当該議案の審議のみ行うということによろしいでしょうか。

全 委 員：異議なし。

教 育 長：異議なしと認めます。会議の進行について、決定しましたので、これから会議をはじめます。議案第15号について説明をお願いします。

6. 協議題

① 議案第15号

嘉手納町立幼稚園3～4歳児預かり保育拡充について

教 育 長：議案について、提案をお願いします。

教育指導課長：（※議案及び資料読み上げ）

委 員：4歳児と5歳児だけ混合学級とする事は疑問でしたが、国の定める基準に則っているのですね。入学希望人数に対し弾力的に運用出来るので良いと思います。預かり保育の拡充をする事で他の保育園に子どもを預けている親が、町立幼稚園に預けたいと思うでしょう。保育園とは違う幼稚園の特徴や魅力を高めていき、感謝されるような保育の拡充を図っていただきたいです。

教育長職務代理者：私も、4歳児と5歳児だけに混合学級があり、3歳児と4歳児の混合学級があってもいいと思っていましたが、国で定める基準があるのですね。勉強になりました。3歳児は午睡などもあると思いますので、発達段階の保育が必要ですね。学級編成は園長が編成すると記載されており、人数やカリキュラムに応じた編成が出来る事を期待しております。

委 員：決定事項ではありますが、年齢ごとに発達段階が違いますので、午前中はそれぞれのカリキュラムを受け、午後から混合学級にするという編成も良いと考えています。嘉手納町は3年保育を県内で初めて取り入れ、預かり保育もすぐに拡充しております。どれだけの子ども達が私立幼稚園や保育園から移ってくるかわかりませんが、子ども達にとってメリットがないといけないと思います。現場の教諭は保育園側と協議し、午後の保育内容を検討してほしいです。

教 育 長：ありがとうございます。本日の庁議で内容を議論し、4歳児と5歳児を混合学級で編成し、定員を超えたら4歳児3歳児それぞれの学級を編成する事に決定しました。今年中に決定出来るか心配でしたが、担当課長や指導主事、担当職員で浦添市や豊見城市まで視察に行き助言を受け、具体的な方法を模索した事で今回の成果に繋がりました。今後は町長の施策である「子育てしやすいまちづくり」にも繋がりますので、大きな貢献だと思います。

委 員：私立の幼稚園は年齢ごとの学級編成となっているので行政が先駆けて混合学級編成をする事で、民間へアドバイスが出来るようになると思います。混合学級にする事で年上の子どもにリーダーシップが生まれてくれたらとても良いと思います、混合の良さを表に出していけたらと思います。

教育長職務代理者：沖縄県内に混合学級保育を実施している市町村はありますか。

教育指導課職員：浦添市、うるま市、北中城村、西原町が4歳児と5歳児の混合学級を編成しており、30人の子どもに対し1人の教諭で1学級となっております。

教育指導課長：混合学級の良さと同じく、3年保育の良さも実際にあります。今、5歳児は自信を持って幼稚園生活を送っております。年少の子ども達に出来る事を自分達で考え配慮する事で感謝され、自己肯定感が高まっています。そして年少の子ども達は5歳児の行動を真似しがります。5歳児の遊びを見て真似する光景も見られ、成長に繋がっていると思います。私達は特色ある園づくりとして、3年保育の良さをアピールしていきたいと考えています。

教 育 長：ありがとうございます。他にご意見やご異議はございませんか。

全 委 員：異議なし。

教 育 長：それでは嘉手納町立幼稚園3～4歳児預かり保育拡充について承認いたします。

② 議案第6号

二学期制について（継続審議議案）

教 育 長：議案について、提案をお願いします。

教育指導課長：（※二学期制についての意見書読み上げ）

教 育 長：ありがとうございます。質疑やご意見はございませんか。

委 員：アンケート結果等による多角的な検証が今回は難しい為、検証委員会から示された課題に対し3つの対応を行っていくのですね。保護者や地域の理解を得る為に教育委員会の方針を示すのは良い事だと思います。今後も二学期制を続けていく事で子ども達や地域が変化に気づけるくらい良い制度になってほしいので、二学期制を見直す事になった時の為に、今から根拠資料やデータ記録を残してください。通知表の回数が2回になり、学習面のフィードバックの機会が減った事に対する対応についてですが、親は通知表の回数が重要ではなく、評価の内容を重視すると思います。内申や評価は進学に向けての目安になります。ある高校の通知表は教科によっての得意・不得意に対して評定し、不得意な教科を改善する為の具体的な助言や指導が行われております。本町の学校現場でもそういった取組みをされてほしいです。

教育長職務代理者：検証委員会の皆さんはこのアンケートだけで検証していったということですよ。アンケートの回収率が保護者は50%ですが、地域住民等からの回収率がかなり低い状況です。また、回答は賛成と反対とわからないがありますが、2学期制が始まって16年になります。保護者は、両方経験している方が多いと思いますので、もっと明確な結果が出るものと思いました。地域の方が「わからない」というのはわかります。また、教師の「わからない」の意見に「二

学期制を導入した平成15年度とは、現在の状況が変わってきている（例えば週29コマになっている）ので、よりよい検証をお願いします。」ともありました。ですからこの一年間は継続調査を提案します。

委員：小中共通で、先生方は面談の時には教科総合的な学習の様子や宿題・提出物、学校での様子等を保護者に伝えていました。面談前には資料の準備もしていました。中学校では1学期の中間テストの結果を個人表でまとめて、学年でも上位400点以上の成績は掲示されていました。それ以外に保護者がもっと何かを求めているのでしょうか。また、成績を年に4回の定期テストだけで決めていることに対する不満がありますが、実際はそうではないと思います。授業中に発表した回数や宿題の提出状況といった学習に対する行動も反映しています。評価の具体的な仕方が子ども達にもわかるようにした方が良いと思います。不登校の子を対応した際にこの子が、「提出物を出しても評価は変わらない」と言っていました。不登校の子は提出物を一生懸命出しますが、どういった形で成績に加算されるかが子どもにはわからないようです。評価4の中にも、もう少しで5になるものや、ぎりぎり5になっているものもあり、先生にその詳細や状況を聞いて納得すれば、生徒の向上に繋がるとと思います。

委員：先生方は保護者に対し成績の数字詳細を出していますが、受取側がその数字を読み取る事が出来ず、活用できていないのが実際の状況です。先生方は基準に沿って成績を付けますので保護者がわかるように成績の数字詳細を提示し説明する事で進学に向けての課題解決や目標に繋がるとと思います。授業態度による成績の加点方法について、子ども達はわかっているのでしょうか。

委員：子ども達は、恐らく授業態度の成績加点法はわからないと思います。高校に進学すると、最初の段階で成績詳細が出され、希望する大学に進学可能か示されます。義務教育である中学校でも成績の数字詳細を作っているのです、ちゃんと活用し、生徒へ助言や指導を行えば、高校進学へ危機感を持てると思います。

教 育 長：子どもに提示される時は数字で出されるのですね。評定は5段階、評価はどれぐらい力が備わったかをチェックします。提出物の数や授業中の発表回数等での加点法について具体的に提示し、丁寧に指導する事が必要です。3年生にとっては高校進学に係ってくる重要なものです。評定の根拠となる数字資料を理解してもらえたら保護者も納得してくれるでしょう。高校推薦の目安にもなります。成績評価をする上で、二学期制がいかにも有効なものだという理解にも繋げていきたいです。そして、二学期制の調査研究は5年に1回程度実施し、保護者に公表した方が良いです。子ども達の成長や地域との繋がりに対する信頼性にどれほど貢献出来ているかという事を示していきたいです。

よう。

委員：二学期制は長年に渡って実用しているので、町民に馴染んでおります。二学期制の有効性について調査研究を行い、結果を出せば誰も不満を言わないと思います。例えば中学の学校目標として、進学校への進学率の設定や、学力が弱くても宿題や部活動、ボランティア活動等の学校活動を努力する事で評定回復させるといった取組みがあると思います。そういった3年間の努力で高校の推薦合格者をどれくらいだせるか結果に繋げ、成果にしてほしいです。

教育長職務代理者：今回の検証委員会の意見書の文中に「嘉手納町の児童生徒が二学期制に慣れており、生活リズムが確立できている」「児童生徒一人ひとりをしっかりみとる事ができ、個に応じた指導が出来ている」とありましたが、どのような結果が出ているかを確認出来れば今後5年先も二学期制を継続して良いと思います。そう考えるとこの1年間は延長期間として捉えて検証するのが望ましいと思います。

教育長：意見書の提言1から3については学校現場できちんと取り組んでいただき、調査機関をこの1年間は延長した方が良いという意見ですね。

委員：今年のエイサー祭りで、非常に不安に感じた事がありました。A行政区コミュニティセンターで夜の11時を過ぎても中学生が残り、そばの配膳をしていました。その場にいた大人に「子ども達を帰宅させてください」と言っても誰も動く気配がなかったので私が帰宅を促し、11時半頃ようやく帰宅させました。他の行政区では、未だガーエーをしているところもありました。次の日、小学校に行く用事があったので、教頭先生に子ども達の様子を伺いましたが、「子ども達は疲れ気味で、欠席者も多い」と言っていました。地域行事に参加するのは良い事だと思いますが、こういった事態を招くのはいかなものかと思いました。

教育長：この件については、警察や青少年センター等を交えて検討していきたいと考えています。自治会長会も月に1回開催していますので、その中でも話していきたいと思います。

委員：意見書課題3の「地域行事への参加」で、エイサーを限定しているのは残念です。教育委員会として区民清掃や陸上競技大会等の地域行事の参加をもっと推奨した方が良いと思います。私の親戚はある地域で友人と協力し青年会を立ち上げ会長をしており、年間を通し地域の子供達と行事に参加したり、勉強を教えています。

教育長：「エイサー等」という表記が望ましいですね。委員のご意見通り、これからはエイサーだけでなく、地域に協力してもらいながら子ども会等の様々な行事やコミュニティセンター内で出来る事を具志川公民館に見習いながら活動を広げていかなければなりません。二学期制の調査研究期間を延長し、改善を

図りながら保護者の理解に結び付け、子ども達の成長に寄与出来るよう進めていきたいと思います。


教育指導課長：たくさんの意見ありがとうございます。ごもったもな意見だと思います。

教 育 長：他にご意見やご異議ございませんか。

委 員：異議なし。

教 育 長：それでは、二学期制について（継続審議議案）について承認いたします。これで第3回臨時教育委員会会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

9. 会議録の署名人

教 育 長 比嘉季勝 

教育長職務代理者 奥間千津子 